

LTEとWi-Fi®で使う場所を選ばない IPトランシーバー

おもな特長

■ LTE回線とWi-Fi®で日本全国※1が通話圏内、さらに安心

IP510Hは、LTE回線とWi-Fi環境下で使用ができます。不感地帯を気にせず、タイムリーな情報伝達を実現します。本体操作なしにLTE/Wi-Fi®の回線が自動で切り替わるため、使用者が屋外/屋内に移動するときや、地下・トンネルなどのLTE回線が不感になりやすい場所でもWi-Fi環境下であれば安心してご利用いただけます。

※1…各携帯電話回線の電波到達範囲が通話エリアとなります。

■ デュアルSIMで冗長性を確保

NTTドコモのLTE回線、もしくはauの4G LTE回線※2を使うことで、日本全国が通話圏内。また、デュアルSIMに対応し、本体操作でキャリアを切り替えて使用できます。

※2…当社提供のSIMカードを選択することで、いずれかの回線が使用できます。

■ Bluetooth®機能を搭載

ケーブルレスでの運用にも対応しています。ケーブルの引っ掛かりなどの有線ケーブルの煩わしさから解放され、操作性・機動力が向上します。

■ 業界最小クラスのコンパクトサイズ

約56(W)×92(H)×31(D)mm※3と、IPトランシーバー端末としては業界最小クラスのコンパクトさを実現。業務の機動性を損ないません。従来の当社製品と比較しても、よりコンパクトになりました。

※3…BP-314装着時、アンテナを除く。

■ 防塵・防水、タフボディ

防塵・防水(IP67※4)性能を実現。屋外や雨天などでも安心して使えます。

※4…バッテリーパック、アンテナ、保護カバーを正しく装着した状態で、試験用粉塵を1㎡あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機の内部に粉塵の浸入がないこと。また、水深1mの静水(常温の水道水)に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、無線機として動作することです。

■ 同時通話・多重通話・割り込み通話に対応

多くのトランシーバーは、相手の話し終わりを待ってから交互に通話しなければならないため、通話に大きなタイムラグが生じます。IP510Hは、同時通話に対応。携帯電話と同じように、お互いが同時に話せるので、自然なやりとりが可能です。また、多人数による多重通話もサポートしており、電話会議のような使い方にも対応できるほか、他のスタッフ同士の会話に重要な連絡を割り込んで伝えることもできます。

■ その他の機能

●騒音に負けない1000mW(内部スピーカー時)の大音量出力 ●全体通話のほか、個別通話・グループ通話に対応 ●本体のみで同時通話を可能にするエコーキャンセラー機能 ●充電端子にUSB Type-C™を採用 ●録音再生機能 ●着信を振動で伝えるバイブレーション機能 ●プリセットの文字情報を送信 ●GPS機能 ●緊急呼び出し機能 ●マッドダウン機能 ●ローンワーカー機能 ●緊急速報の受信に対応(予定) ●従来の無線機やIP電話網(RoIP網)との連携



IP510H



動態管理対応

RoHS指令対応

免許・資格不要

■ 端末位置情報を利用した各種サービス(オプション)に対応

オンプレミス型

別売りのIP無線ゲートウェイIP500G^{※1}を導入することで、パソコン上に端末のリアルタイムな位置情報を表示させることができます^{※2}。

※1 IP500Gは、au 4G LTE網にのみ通信可能。
他にIP501M、IP500M、VE-PG4でも表示可能。
※2 別途、対応地図ソフトが必要。昭文社スーパーマップル・デジタル[®] (15以降)全国版に対応。



ランニングコスト不要

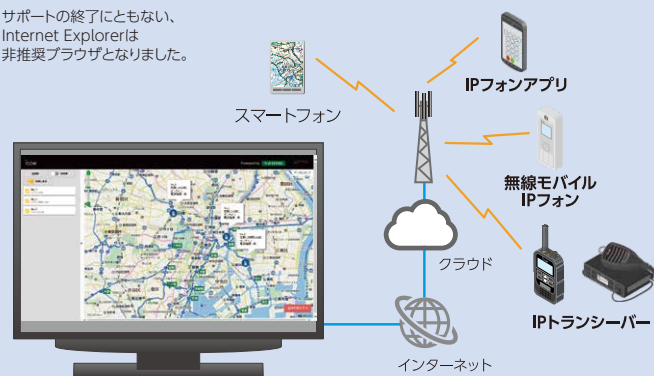
インターネット接続不要

(地図使用承認©昭文社第61G319号)

Webブラウザ型

IP無線動態管理サービスをご契約いただくことで、IPトランシーバー端末の位置情報はもとより、渋滞情報や天候情報などさまざまな情報を統合し、スマートフォンやタブレット上のブラウザ (https://icom.navitime.biz/) に表示させることも可能です。ブラウザ上で表示できるので、関係者だけではなく、公開情報としての扱いも可能です。

※サポートの終了にともない、Internet Explorerは非推奨ブラウザとなりました。



WEBブラウザ表示

各種情報連携

(交通情報:VICS/JARTIC 地図:©ゼンリン)

■ IP510Hの主な定格

【一般仕様】

無線通信仕様	NTTドコモのLTE、auの4G LTE
電源	定格7.4V
寸法	約56(W)×92.3(H)×31.2(D)mm(BP-314装着時、アンテナを除く)
重量	約220g(BP-314、アンテナ装着時)
使用温度範囲	温度: -10℃~+60℃ 湿度: 90%以下(ただし、結露なきこと)
充電端子	USB Type-C™
運用時間の目安*	BP-314 LTE:約18時間 / WLAN:約36時間 BP-315 LTE:約26時間 / WLAN:約58時間 ※条件:送信10秒、受信10秒、待受け180秒の繰り返し。バックライト、Bluetooth [®] 、GPSなど付加機能はOFF、LTEとWLAN自動切換え機能もOFF。
充電時間の目安	約120分(バッテリーパックBP-314、ACアダプターBC-258使用時) 約200分(バッテリーパックBP-315、ACアダプターBC-258使用時)
音声出力	1000mW以上(内部スピーカー 8Ω、5%歪率時) 250mW以上(外部スピーカー 8Ω、5%歪率時) 1000mW以上(外部スピーカー 8Ω、5%歪率時 with HM-222HLS)

■ オプション

・バッテリーパック

BP-314: リチウムイオンバッテリーパック 7.2V、1910mAh (min.)、2010mAh (typ.)
BP-315: リチウムイオンバッテリーパック 7.2V、3050mAh (min.)、3150mAh (typ.)

・充電器

BC-269: 急速充電器 (AC アダプター別売、充電しながら運用可能、最大6台まで連結可能)
BC-123S#64: AC アダプター (BC-269 単体充電時に使用)
BC-228: AC アダプター (BC-269 を複数台連結して充電時に使用)

・マイクスピーカー&イヤホンマイク

HM-183LS: 防水形小型スピーカーマイクロホン (割込通話対応)
HM-186LS: 小型スピーカーマイクロホン (割込通話対応)
HM-153LS: イヤホンマイクロホン (同時通話対応)
HM-166LS: 小型イヤホンマイクロホン (割込通話対応)
HM-222HLS: 防水型スピーカーマイクロホン (割込通話対応)

HS-102:

OPC-2359:

S9:

・その他

MBB-3:

LC-204:

・拡張機器

IP500G:

VE-PG4:

イヤホン型ヘッドセット (OPC-2359 と組み合わせて使用、同時通話対応)
通話スイッチ内蔵型接続ケーブル (電子ロック式、同時通話対応)
Bluetooth[®] 骨伝導ヘッドセット

ベルトクリップ

キャリングケース (BP-314 装着時用)

LTE ゲートウェイ

RoIP ゲートウェイ

●その他のオプションは、アイコムHPをご参照ください。

■ 推奨品

IJKP-HM-01-SW: Bluetooth[®] 機能対応 空気伝導ヘッドセット

OPENCOMM2 C110: Bluetooth[®] 機能対応 骨伝導ヘッドセット

アイコム株式会社

国内営業部 〒135-0042 東京都江東区木場2丁目17-16 5F TEL 03-6240-3549

製品の技術的なお問い合わせ

アイコムサポートセンター
(平日9:00~17:00)

フリーダイヤル ☎: 0120-156-313
携帯電話・公衆電話からは: 06-6792-4949

製品の最新情報については
アイコムホームページでご確認ください。

www.icom.co.jp



注意
正しく安全にお使いいただくため、
ご使用前に必ず「取扱説明書」を
よくお読みください。

●定格仕様・外観等は改良のために予告なく変更することがあります。●アイコム、ICOM、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。●スーパーマップル、スーパーマップルデジタルは、株式会社昭文社ホールディングスの登録商標です。●Bluetooth[®]のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。●Bluetooth標準規格に適合していても、機器の仕様や設定により、本製品と接続できないことがあり、すべての動作を保証するものではありません。●製品の色は印刷の関係上、実際のものと多少違うことがあります。●イヤホン使用時は、音量には十分ご注意ください。●携帯電話回線状況(混雑)などにより、音声の遅延や途切れ、不達が発生することがあります。●表示画面はハミコミ合成です。●安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。●Wi-FiはWi-Fi Alliance[®]の登録商標です。